

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	下水道推進課長 稲田 栄	電話番号	0852-22-5932
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	流域下水道高度処理事業			
目的	(1) 対象	穴道湖・中海周辺の住民		
	(2) 意図	穴道湖流域東部浄化センターの流入水の窒素及びリンを可能な限り除去し、穴道湖・中海の水質保全を図り、快適な水環境を提供する。		
事業概要	穴道湖流域下水道東部浄化センターの放流水水質基準に適合した水質にして排水する。			

2. 成果参考指標

(1) 指標名	流入水に含有する窒素の除去量	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		540.00	555.00	570.00	585.00	
式・定義	流入水に含有する全窒素量(T-N)－放流水に含有する全窒素量(T-N)	実績値	523.80	504.30	523.40	542.10		
		達成率		93.40	94.30	95.20		%
指標名	流入水に含有するリンの除去量	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		85.00	87.00	89.00	91.00	
式・定義	流入水に含有する全リン量(T-P)－放流水に含有する全リン量(T-P)	実績値	104.80	100.50	100.20	104.80		
		達成率		118.20	115.20	117.80		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	0
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

窒素に関する放流水の目標水質T-N8.0mg/ℓに対し放流水T-N6.6mg/ℓである。
 また、リンは目標水質T-P0.4mg/ℓに対しT-P0.29mg/ℓであり、放流水質は良好な状態である。（東部浄化センター）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

流入水中の窒素の含有量が少ないため、窒素の削減量は目標値を下回っているが、窒素、リンともに放流水の目標水質を維持している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
窒素の除去量が目標値に達していない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
放流水質、除去率ともに良好である。
窒素の除去量が目標値に達していないのは、流入水中の窒素の含有量が少ないためと考えられ問題ない。
- ③原因を解消するための「課題」
現在の放流水質を維持し続けるため、施設の耐震化、長寿命化等を計画的に進めることが重要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き施設の耐震化、長寿命化を計画的に実施する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）